



ビジネスモデル学会の誕生は 2000 年に遡りますが、イブニングセッションは学会のスピンオフ・プログラムとして 4 年前にスタート、毎回講師お一人をお招きし、ビジネスの最前線を拝聴する場として計 26 回開催して参りました。今年 2016 年から平野新会長の下、学会全体を刷新したのを機に、新生イブニングセッションもフレームワークをリ・デザインさせて頂くことになり、現時点で 5 回開催させて頂いております。

ポイントは、「ビジネスモデル＝ビジネス＋モデル」に分解、毎回お二人に登壇頂き、経営者の方からビジネスの現場最前線を語って頂く傍ら、アカデミアの方（大学教授・コンサルタント等）からモデル化・抽象化を頂くように変えた点にあります。そして参加される会員の皆様とインタラクティブに交流頂くこれまでのスタイルは尊重し継承しています。写真のように、雑誌 WIRED 誌とも提携、赤坂アークヒルズの WIRED Lab. を会場に、毎回約 40 名の会員様にお越し頂いています。

リ・デザインした背景として下記が挙げられます。

第一に、ビジネス界において、テクノロジーの劇的な進化によって、伝統的な産業構造やプロセスの枠組みが崩れ、またハードとソフト、モノとサービスの境界線が消滅していく中で、一見無関係に見える中の関係性、つまり異なる存在 X 異なる存在 を繋げることで新たなイノベーションが誕生し、瞬く間に新しい巨大市場を形成できる可能性が生まれています。

第二に、アカデミア界において、細分化された学術的区分を横断する新領域としてビジネスモデルが注目されていますが、ビジネスの最前線で先行的に普及した概念をアカデミアが追いかける経営学の先端領域になってきています。

第三に、知的好奇心とビジネスマインド溢れる会員においても、ビジネス界から毎回第一線の事例を拝聴することは尊い学びにはなりますが、それぞれが属するドメイン(業界・企業・起業ベンチャー等)にそのまま応用展開することは決して容易ではなく、アカデミア界から抽象化・モデル化頂くことは非常に価値があります。

このようにビジネスの最前線とアカデミアの最新理論の結合を目指し、産声を上げたばかりの新生イブニングセッションですが、今年5月から8月までに以下の5回を開催させて頂いています。

回数	開催日	テーマ	登壇者(敬称略)	
			ビジネス界	アカデミア界
1	5月24日	ネスレ日本のイノベーション	石橋昌文 ネスレ日本株式会社 CMO 常務執行役員	山本 晶 慶應義塾大学ビジネス スクール准教授
2	6月14日	グローバル M&A と企業変革	小池利和 ブラザー工業株式会社 代表取締役社長	入山章栄 早稲田大学ビジネス スクール准教授
3	7月13日	日本のシェアリングエコノミー の現在と未来	重松大輔 株式会社スペースマー ケット代表取締役	森祐治 株式会社電通コンサル ティング取締役
4	8月3日	ライフネット生命の起業物語～ いかに着眼し、成長させたのか	出口治明 ライフネット生命保険 株式会社会長	首藤明敏 明治大学ビジネス スクール教授
5	8月29日	加速する AI と IoT	村上 憲郎 元 Google 株式会社 代 表取締役社長	白坂成功 慶應義塾大学大学院 SDM 准教授



**WIRED Lab.**  
Presented by WIRED + Rhizomatiks